

## PRESS RELEASE

2016年3月8日  
株式会社三菱総合研究所

## 2015年10-12月期2次QE後「内外景気見通し」改定値

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号)は、内閣府より3月8日に発表された2015年10-12月期GDPの2次速報値(2次QE)を受け、2月16日当社発表の「2015~2017年度の内外景気見通し」における日本のGDP予測値の改定を行った。

## ◆ 予測結果 — 実質GDP成長率は、15年度+0.7%、16年度+1.0%、17年度▲0.2%

実質GDP成長率は、15年度+0.7%、16年度+1.0%、17年度▲0.2%と予測する。前回見通し(1次QE後、2月16日)から15年度は+0.1%p上方改定、16年度および17年度は変更なしとする。

2015年10-12月期GDPの2次QEは、1次QEから実質前期比▲0.4%→▲0.3%(同年率▲1.4%→▲1.1%)と小幅の上方修正となったものの、2四半期ぶりのマイナス成長である点に変わりはない。内訳をみると、公的固定資本形成が下方修正(実質前期比▲2.7%→▲3.4%)された一方、民間設備投資(同+1.4%→+1.5%)と、民間在庫品増加(実質前期比寄与度▲0.1%ポイント→▲0.0%ポイント)がいずれも小幅上方修正された。

先行きを展望すると、世界的な金融市場の不安定化などを受けて、日本経済は16年1-3月期も力強さを欠くと見込まれ、実質GDP成長率(前期比年率)は+0.2%と小幅プラスにとどまると予測する。16年度入り後は、期を追って企業・消費者マインドが改善するのか正念場の年となる。

図表 日本経済見通し総括表

(単位:前年度比)		今回見通し				前回(1次QE後、2/16)		
		2014年度 実績	2015年度 予測	2016年度 予測	2017年度 予測	2015年度 予測	2016年度 予測	2017年度 予測
実質GDP	実質国内総生産(実質GDP)	▲1.0%	0.7%	1.0%	▲0.2%	0.6%	1.0%	▲0.2%
	民間最終消費支出	▲2.9%	▲0.5%	1.0%	▲2.0%	▲0.4%	1.1%	▲2.0%
	民間住宅投資	▲11.7%	2.4%	2.3%	▲1.2%	2.4%	2.3%	▲1.2%
	民間設備投資	0.1%	2.1%	3.2%	0.4%	2.0%	2.9%	0.4%
	民間在庫品増加(寄与度)	0.6%	0.3%	▲0.3%	0.3%	0.2%	▲0.3%	0.3%
	政府最終消費支出	0.1%	1.3%	1.0%	1.1%	1.2%	1.0%	1.1%
	公的固定資本形成	▲2.6%	▲1.4%	▲1.3%	▲0.3%	▲0.8%	▲1.0%	▲0.3%
	財貨・サービス純輸出	***	***	***	***	***	***	***
	財貨・サービス輸出	7.8%	0.3%	1.3%	2.3%	0.3%	1.3%	2.3%
財貨・サービス輸入	3.3%	▲0.1%	1.6%	▲0.4%	▲0.1%	1.6%	▲0.4%	
寄与度	内需寄与度	▲1.6%	0.6%	1.0%	▲0.6%	0.6%	1.0%	▲0.6%
	民需寄与度	▲1.5%	0.4%	0.8%	▲0.8%	0.3%	0.9%	▲0.8%
	公需寄与度	▲0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
	外需寄与度	0.6%	0.1%	▲0.0%	0.5%	0.1%	▲0.0%	0.5%
名目国内総生産(名目GDP)		1.5%	2.2%	1.7%	1.5%	2.1%	1.7%	1.5%
GDPデフレーター		2.5%	1.5%	0.6%	1.6%	1.5%	0.6%	1.6%

資料：実績は内閣府。予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

政策・経済研究センター 武田洋子 森重彰浩

電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：ytakeda@mri.co.jp

広報部 上岡・瀬戸口 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp

尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。